

# キラキラ通信



郡山支援学校 地域支援部だより 第3号 平成29年9月22日(金)発行

## キラキラ教室を実施しました。

夏休みの7月26日(水)と8月1日(火)の2回にわたり、幼児とその保護者を対象にキラキラ教室を実施しました。

前半は子どもたちがさまざまなブースを回って自由に遊び、後半は参加者全員で歌ったり身体を動かしたりして楽しみました。参加者からは「あっという間で、遊び足りないくらいです。」という感想がありました。



一人で動か  
せましたよ

<スイッチ教材> 白い棒がスイッチにつながっていて、軽く触れるだけでおもちゃが動きます。

<シーツブランコ> 左右に揺られ、いい感じです。



<ボールプール> たくさんのボールに囲まれて、ごろごろ体を動かします。



<おもちゃ> i-Padを振ったり、声を出したりすると電車が走ります。



あーっ！  
動いたあ

☆第4回 キラキラ保護者教室は、11月17日(金)「気持ちがいいね リラックス リラックス～親子でのびのび、きもちよ～くストレッチ～」を実施します。

## シリーズ 支援の視点② 「図と地」



左の絵には、何が描かれているでしょう？

この絵は「ルビンの壺(つぼ)」、「ルビンの杯(さかずき)」等と呼ばれています。白い部分に焦点を当てると杯に見え、黒い部分に焦点を当てると向き合っている二人の横顔が見えます。

私たちはものを見る時、「一番見たいもの」に焦点を当て、「他のもの」は意識の外にしています。これを「図と地」といいます。「図」とは一番注目したいもの、見たいものであり、「地」とは背景となるもの、意識の外にいいものです。

聴覚においても同様で、「図」は聞きたい音や声にあたり、「地」は無視していい音や声にあたります。

私たちは、この「図」と「地」を無意識により分けることができますが、子どもたちの中には、一方しかできないということもあります。「見ていない」「聞いていない」のではなく、「見えていない」「聞こえていない」のです。子どもにとって一番必要な情報は、「今、ここで、何を  
するのか」ということです。見てほしいものは見えやすく、聞いてほしいことは聞こえやすい状況をつくり、必要な情報を短く、はっきりと示すことが大切です。

右の絵に描かれている動物は何でしょう。正解は裏面です。

